

河南师范大学  
二〇〇九年硕士研究生入学考试业务课试卷

科目代码: 822 名称: 综合日语 适用专业或方向: 外国语言学及应用语言学  
(必须在答题纸上答题, 在试卷上答题无效, 答题纸可向监考老师索要)

一. 次の文の \_\_\_\_\_ にはどんな言葉を入れたらよいか。最も適当なものを一つ選びなさい。(2 × 20 = 40 点)

1. 彼の日本語の上達ぶりには目を張る \_\_\_\_\_。  
A、ものだ B、ものか C、もんか D、ものがある
2. 子供がインターネット \_\_\_\_\_ 夢中になっている。  
A、というものに B、のものに C、であることに D、であるものに
3. まだ検討中の \_\_\_\_\_、はっきりとしたお返事はできません。  
A、ことには B、ことなしに C、こととて D、ことから
4. 四国地方には四つの国があった \_\_\_\_\_ 四国と呼ばれる。  
A、ことから B、ことだから C、ことなのか D、ことには
5. 僕だって、2 級はともかく \_\_\_\_\_ 問題なら、簡単に解けるよ。  
A、3 級ぐらいの B、1 級ぐらいの C、3 級ほどの D、1 級ほどの
6. 「あの人、学校辞めたよ。」「そう。道理で \_\_\_\_\_ ね。」  
A、辞めたわけだ B、辞めたわけではない  
C、見かけないはずがない D、見かけないはずだ
7. 位置について、 \_\_\_\_\_ !  
A、準備 B、用意 C、支度 D、予備
8. 先進的な \_\_\_\_\_ を学ぶ。  
A、経験 B、体験 C、経歴 D、履歴
9. 近くのスーパーが \_\_\_\_\_ いる。  
A、休憩して B、休息して C、休んで D、休めて

10. 旅に出て多くの人に会うのが一番\_\_\_\_\_になる。

A、勉強 B、学習 C、学び D、習い

11. 私に妹一人、兄三人があります。私は\_\_\_\_\_人兄弟です。

A、三 B、四 C、五 D、六

12. —今コーヒーを飲みに行くところですが、一緒にどうですか。

—ええ、\_\_\_\_\_。

A、ぜんぜん B、とても C、ぜひ D、たいへん

13. あそこに大きなタワーが建っている\_\_\_\_\_が見えますか。

A、の B、もの C、こと D、ところ

14. だんだん和食にも慣れて\_\_\_\_\_が、納豆はまだ食べられません。

A、います B、いきます C、きました D、きます

15. 僕一人で決められないので、この件ついて少し\_\_\_\_\_。

A、考えてください

B、考えませんか

C、考えさせてください

D、考えましょう

16. いつもニコニコしている先生のことだから、さぞ優しい先生だろうと思いきや、\_\_\_\_\_。

A、思ったとおりの先生だった

B、全く反対の先生だった

C、やはりやさしい先生だった

D、とてもまじめな先生だった

17. 「先生、荷物を\_\_\_\_\_か。」

「ありがとう。でも一人で大丈夫だから、・・・」

A、持ってあげましょう

B、持ってさしあげましょう

C、お持ちになりましょう

D、お持ちしましょう

18. 春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、少しあかりて、紫だち\_\_\_\_\_雲の細くだなびきたる。

A、たり

B、たる

C、だり

D、だる

19. 古池や蛙飛び\_\_\_\_\_水の音。

A、いる B、込み C、いれ D、入る

20. くらき人の、人を計りて、その智を知れりと思わん、さらにあたる\_\_\_\_\_。

A、べく B、べし C、べけ D、べからず

二. 次の日本語を中国語に訳しなさい (2×5=10 点)

1. 漆に負ける。

2. ご一家の繁栄を祈ります。 祈禱 家昌益

3. 社長はあなたを高く買っているし、同僚もあなたに注目しています。

4. 熱心に話を聞く。 社長非常欣賞你 同僚也很注目你

5. 出口が厳重に守られている。 认真地全神貫注地所 守口如瓶

三. 次の中国語を日本語に訳しなさい (2×5=10 点)

1. 喂! 不管谁, 放马过来! 喂, 誰でも来い

2. 被蚊子叮过的地方痒。 蚊に刺されたところ痒いぞ

3. 把书放在书架顶上。 本を本棚の頂上に置いてください

4. 大概是天气的关系吧, 他的老毛病又发了, 昨天住进了医院, 你去看看他吧。

たぶん天気のせいで、彼の通病も発作し、昨日入院し、彼を去看看な

5. 比赛之前, 将举行入场式, 体委主任将发表简短的祝词。

試合の前に入場式が行われて体育委員長は一言の祝詞を発表する

四. 次の文章を読み後の問いに答えなさい。(18 点)

アメリカの二世についてこういう話を聞いたことがある。日本生まれの父母を持った二世たちは、日常生活で、はしたない振る舞いをする「そんなことをすると人に笑われる」「そんなことをすると恥をかく」と言い聞かされて育つ。だがやがて彼らはアメリカの社会で成長するにつれて、「他人がどう思おうと知ったことか。自分は自分の道を行く。」という結論に達し、アメリカ人になっていく。この話はこれだけでは説明が不十分であるけれど、日本的志向を端的に表現しているよい例である。

( A ) 【一口に「他人の目」というけれども、よく考えてみると、これには二つ

の意味を与えることができる。一つは世間の人々が見ると、「自分は変なことをしているのではないか?」「笑われるのではないか?」「出過ぎているのではないか?」という一種の卑屈さを伴った恐れと言うべき意識であり、もう一つは論理を追って自己の立場を認識した上での、自己の対象化する「他人の目」である。】

最近、「若者たちはオウボウすぎる。」「他人のことを考えない」「他人の目を意識しない。」といったことが、大人たちの批判の声としてよく聞かれる。この場合大人たちの批判の多くは、自分の過ごしてきた青春時代の青年像とはあまりにも違う現代の気ままな若者たちの姿に、かつての抑圧された、常に他人の目を意識しなければならなかった、クツジョクにあふれた自己の青春像を重ね合わせてつぶやく、悔恨、センボウ、嫉妬の混じりあったものが多い。

姑の嫁いびりが過去長い年月続いてきたのは、自分たちが嫁の時代にされてきたことを、自分が姑の立場に立った時、再び次の世代にキョウヨウすることで、辛うじて自分を慰めてきたからである。「他人の目」を常に気にしなければならない長い間の習慣もまたそういうようにして幾世代も続いてきた。だが、敗戦後の、価値基準の変化と海外との交流によって開かれた新しい人間像への目によって、親たちは子供たちに自分たちが子供時代にキョウヨウされてきたものを押し付ける自信を失ったし、また押し付けることの成り立たない客観情勢にも気付くようになった。その腹立たしさが根底にあるため若者たちの批判である「他人の目を意識しない ( おれ ) の振る舞い」という言葉も、( C )、姑根性丸出しのいやらしさを伴うようになる。

これに対してもう一つの意味の他人の目は自己を世界の中で客観的にする能力を意味し、自分自身を他人の目で眺めることである。今日の社会性のない一部の若者たちを育てた親たちにも、( D ) エコノミックアニマルという世界の批判を受けた日本の経済進出にも、この「他人の目」を自分の目に置き換えることができなかったということがあるのではないだろうか。

第一の意味での他人の目は、つまり「みっともない」とか「恥をかく」とか、常に他人の価値判断を基準として自分を律していく ( E ) 他律的な習性は、悲しいなが

ら中年以上、戦争以前に青春を送った世代の多くの人たちに、いやというほど身についてしまっている。「みつともない」とか「みばが悪い」とかいう感覚は、単に世間でよしとされている習慣の中で、自分が人並みであるか、そうでないかということだけであり、特に並外れて劣っているばかりでなく、並外れて優れていることさえもはばからなければならぬことであった。つまり、社会のなかで安全であるためには、人の中で決して目立ってはならない。同じように目立たない、よくも悪くもない、自己主張しないことが賢い处世術だったのである。

日本の今までの子供のしつけ方をながめると、こういう考え方を親たちは子供に植え付けることで、子供たちに社会教育をしたと思込む。

①横暴 ②美型 ③屈辱 ④若者

問1、太線のカタカナ部を漢字に書き改めなさい。(1×4=4点)

問2、A、【 】内の文章を分かりやすく一文で簡潔に書き換えなさい。(4点)

問3、B、に入る四字熟語を示しなさい。(2点)

問4、C、の「姑根性丸出し」の説明箇所を抜き出しなさい。(ただし字数は40字以内で文末は整える)(4点)

問5、D、の「エコノミックアニマル」の語句の意味を示しなさい。(2点)

問6、E、「他律的」の反対語を示しなさい。(2点)




自律



五、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(32点)

これまでのところでは、日常生活においてわれわれが時計から時間を読み取る場合、現在の時刻そのものを客観的に知ろうとするよりはむしろ時間がもうどれだけ経ったのか、あとどれだけ残っているのかなどという形で、時間の推移を見ているのだということを書いてきた。時間の推移といっても、それは「時間」という眼に見えないなにかが私の外部のどこかで流れ去っているという意味ではない。それはむしろ、それぞれのいまが以前と以後、いままでといまからの両方向へと開かれた拡がりとしての私自身であることによって、時間の推移というよりは私自身の推移として理解しなくてはな

らないものである。そのかぎりにおいて、時間の推移ということは私的・個人的な自己存在の時間性と緊密な関係をもっている。

しかし、だからといって現在の時刻の表示ということが、時計の役目として〔 ① 〕あるいは従属的なものだということとはできないだろう。われわれの身边をすこし見わたすだけでも、目覚し時計、学校や職場での始業終業の合図、テレビやラジオの時報、列車の発車のベルなど、どうしても知らねばならない現在時刻の表示の実例が数多く見出される。われわれがこどもだったころには、どこの家にも柱時計があって、一時間ごとにのんびりした古ぼけた音を聞かせてくれていた。外国に住んでいると、日に何回か、きまった時刻に賑かな教会の鐘の響きが心をなぐさめてくれる。我が国でも、昔は寺の鐘が時刻を報せてくれていたのだろう。

こういったさまざまな形での時刻の合図には、二つの共通点が見られるようである。まず、これらの合図には(  )大きな音が用いられていて、多くの人がそれを同時に知覚しうるようになっている。そして第二に、これらの合図は( B  ) その音を聞く人たちをなんらかの共通の行動に向つてうながすという意味をもっている。この二つの特徴は、時計による、あるいは時計を基準にした現在の時刻の告示が、個人に向けられるよりもむしろ、なんらかの意味での共同体に向けられることをその本質としているということと、密接な関係をもっている。(問3)つまり、ここで告示される時間は、私的・個人的な時間ではなくて、(  )制度的時間ともいうべき公共の時間なのである。

ごく限られた数の人間が単一の生活様式で集団生活をいとなんでいる原始的な共同体〔 ② 〕、(  )時計などの手段で時間を制度化する必要はまったくなかっただろう。そのような集団では、( E  )太陽の動き、鳥の啼き声、家畜その他の身近な動物の習性などを共同体全体の行動の目安としていればよかったはずである。このような原始共同体が、自分たち以外の共同体と接触をもつようになったとき、あるいは共同体内部で分業が生じて全体の生活様式が単一性を失い、複数の部分共同体をなんらかの形で統合する必要が生じたとき、倫理的な意味での行動のルール(問4)が制定されたり、縄張りとしての固有空間が画定されたりするだけでなく、生活の時間的秩序の枠組とし

ての共通の時刻が制度化されなくてはならなかったであろうことは、容易に考えられる。

古代国家〔 ③ 〕統一的時間の制定が重要な統治行為の一つになっていた。それぞれの共同体成員や部分共同体は、この統一的な制度時間を自らの行動の基準として内面化することを強く要請されたはずである。国際標準時を基準にして調整された現代の時計や、それに依拠する時刻の告示が、その延長線上にあることはいうまでもない。

目覚し時計のような完全に私的な時計による現在時刻の告示でも、すこし考えてみればわかるように、結局は学校や職場などの公共の時間やそれに基づく統一的な行動に自己の時間や行動を統合するという目的をもっている。共同体の制度的な時間や行動よりも自己の固有の時間や行動を優先させる人にとっては、目覚し時計の音は有害無益な騒音以外のなにものでもない（問5）だろう。しかしそのような人でも、例えば旅行に出かけようと思えば時刻表に載っている列車の発車時刻やそれを報せるベルの音を無視することはできないし、外国に出かけるときには、土地土地の時刻に合わせて自分の時計を動かさなければならないだろう。そういった制度的時間を認知することなしには、われわれはもはやなんらの社会的行動をいとなむことができないのである。

このように考えると、われわれの大多数が外出するときに時計を忘れずに持って出かけ、一日に何回となくそれに〔 ④ 〕ということの意味も、もう一度考え直さなくてはいけなくなる。時計を見て、もうどれだけの時間が過ぎたとか、まだどれだけの時間が残っているとかが切実な問題になるのは、実は時計の示す時間が私的で個人的な時間であるよりも、公共的な共同体時間だからなのではないのか。われわれが時計を見なければならないのは、人間が社会的な動物であって、共同体の制度を内面化することによってしか個人の生活をいとなむことができないからなのではあるまいか。

（木村敏『時間と自己』より）

問1 (A)～(E)に入るもっとも適切なことばを、つぎのなかからそれぞれ1つ選び、その番号を書きなさい。ただし、同じ答えは一度しか使ってはいけません。（10点）

- (1) いわば (2) おそらく (3) 概して (4) せいぜい (5) 元来

問2 〔①〕～〔④〕に入るもっとも適切なことばを1つ選び、その番号を書きなさい (8点)

- 〔①〕 { (1) 多次的  
(2) 一次的  
(3) 他次的  
(4) 二次的  
(5) ~~数次的~~

- 〔②〕 { (1) にあたっては  
(2) によっては  
(3) においては  
(4) にたいしては  
(5) におうじては

- 〔③〕 { (1) をもって  
(2) からして  
(3) といえは  
(4) だけあって  
(5) においては

- 〔④〕 { (1) 眼にする  
(2) 眼をやる  
(3) 眼をかける  
(4) 眼がきく  
(5) 眼にいれる

問3 「密接な関係をもっている」とあるが、何が何と密接な関係をもっているのか答えなさい。ただし、何がは15字以内で、何とは25字以内で答えなさい。(6点)

時計は基準にした現在の時刻の告示が共同体に向けられる

こともその本質としている

という

ことと密接な関係をもっている。



問4「倫理的な意味での行動のルール」とは例えばどういうことか、具体的な例をあげて説明しなさい。(4点)

問5「騒音以外のなにものでもない」の意味として最も適切なものを一つ選び、その番号を書きなさい。(4点)

- (1)騒音の他の可能性もある
- (2)騒音以外にちがいない
- (3)騒音と違ったものである
- ✓(4)騒音そのものである
- (5)騒音以外のものでありうる

問題六 下記の文章を参考にして、現代における〈技術〉についてあなたの考えを800字程度の小論文にまとめなさい。(40点)

機械ほど、明確に定義づけ難いものはない、と言われる。なぜなら、たとえば、動力と歯車から成る古典的な力学機械を念頭において機械の定義をすると、エレクトロニクスの所産である現代的な情報機械には必ずしも当てはまらず、その定義は後者によって簡単に乗り越えられてしまうからである。そして、同じ情報機械のなかでも、さらに次々に新しい分野が開拓されていけば、同様なことが生ずるのは避け難い。こういうことが起きるのは、機械が謎に満ちているためというより、そういう機械を次々に創り出す人間が謎に満ちているためであろう。

もともと、そういうかたちで問題を閉ざすべきではなく、ここで問われるべきは、機械と人間との関係、つまりは〈技術〉とはなにか、である。ただし、技術では当然、人間と機械との相互性が立ち入って考えられねばならないから、必然的に問題はいつそう複雑になる。暫く前から《マン・マシン・インターフェース(界面)》というようなことが唱えら

れてきているが、それは現在、人間と機械との関係が<sup>7</sup>あらためて問われざるを得なくな  
てきていることを示している。＜技術＞はおそらく、哲学にとって最大の難問の一つであ  
ろう。とはいえ、それは、原子力やエレクトロニクスはもとより、生命工学や臓器移植を含  
む問題に関わり、現在きわめて切実なテーマである。

(出典:中村雄二郎「問題群」)